



受付日：平成22年12月14日
受付番号：HP10-KT108

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成23年1月4日

東京都港区芝5-3-3
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 加藤 義雄

1. 接合金物名称	メインプレート(合板仕様)
2. 試験依頼者	株式会社カナイ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	柱脚柱頭接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	耐力壁が取り付く柱の仕口(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「メインプレート」 材 質: NSDC570 K18*1 寸 法: 100mm×45mm、板厚t=0.6mm 留付け用穴 6-φ5.0mm</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側: 3#角ビット皿スクリュー 3本 材 質: 冷間圧造用炭素鋼*2 寸 法: 公称径φ5.5mm L=75mm 表面処理: 電気亜鉛めっき及び有機皮膜</p> <p>横架材側: 3#角ビット皿スクリュー 3本 材 質: 冷間圧造用炭素鋼*2 寸 法: 公称径φ5.5mm L=75mm 表面処理: 電気亜鉛めっき及び有機皮膜</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱: 105mm×105mm×600mm スギ無等級製材 含水率: 9.5~16.5% 絶乾密度: 0.38~0.41g/cm³</p> <p>横架材: 105mm×105mm×1,000mm スギ無等級製材 含水率: 9.5~18.0% 絶乾密度: 0.41~0.44g/cm³</p> <p>仕口: 短ホゾ、85mm×30mm×深さ50mm</p> <p>4) その他</p> <p>面材(壁): 構造用合板(4分割) 厚9mm</p> <p>*1 溶融亜鉛 - 11% アルミニウム - 3% マグネシウム - 0.2% シロン合金めっき鋼板「スーパーダイマ」 *2 試験報告書P2/9、図2.1に示す化学成分を満足するもの</p>
6. 試験条件等	試験体の固定: 角座金45mm×45mm×t4.0mmとM12六角ボルトを用いて、柱芯より横架材木口両側に400mmの位置で固定(締め付けトルク管理値を20N・mとした)。 試験体は実情に合わせ、壁下地用面材の上から取り付けることを想定し、接合金物と軸組み材料間に面材を挟み込む仕様とした。このとき、面材は4分割し、接合金物が負担すべき荷重を負わない様に配置した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 5.2 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター: 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成22年12月14日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 道場 信義 千葉 博 木村 明博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。